

智林日本語学校の発表会がありました

智林日本語学校には、ネパール、ウズベキスタン、ミャンマー、スリランカなどから日本に訪れている外国人36人（令和6年9月現在）が通っています。9月18日（水）、同日本語学校で発表会が開催されました。

まず、生徒たちが自主製作をした動画（外国人生徒たちがグループに分かれ、自分たちで本町の四季や、町内飲食店・小売店・観光スポットなどを撮影し、動画に編集して日本語による字幕やナレーションを付けて完成させた作品）を鑑賞し、上映後に作りながら苦労したことなどを発表しました。次に、「会話」を活用したゲーム（お客様と学生とがペアになってテーマが書かれたメモをめくりながら会話）をしました。最後に、出身国のことわざ紹介で、発表会を締めくくりました。

町内で外国人とすれ違ったり、姿を見かける機会もあると思います。活発なコミュニケーションは、生徒の皆さんにとっても嬉しく、さらなる日本語習得にも大いに繋がるはずです。ともに智頭町で暮らす大切な仲間として、どんどん話しかけてみてください！また、智林日本語学校では、小中高校生の皆さんと学生が一緒になって行う活動を推進していきたいと考えており、アイデアを募集中ですので、是非とも下記問合せ先まで連絡ください。



問合せ先

【 智林日本語学校 】
☎ 0858 - 76 - 9001



◀ 今回発表された自主製作動画のうち1つの作品を、こちらのQRコードから観ることが出来ます。

本町での企業研修から生まれた新商品 クラフトジン「常盤」のお披露目会開催！



9月29日（日）、どうだん広場にて、新商品のクラフトジン「常盤」のお披露目会が行われました。この商品は約一年前、都市部の大手企業社員が参加し、本町をフィールドとして実施された異業種企業研修の中で提案されたプロジェクトが発端となって商品化したものです。

滞在中に触れた本町民の人の温かさ、質の高い杉・ヒノキがある、という強みを活かし、町民に向けたお酒を造れないか、と思ったのがきっかけだそうです。

「ジン」は世界4大スピリッツにも名を連ねるお酒の一種で、香り付けのためのボタニカル（自然由来の成分）を自由に入れられることから、ご当地色を盛り込みやすいお酒と言えます。この「常盤」には本町のスギ・ヒノキから採取したボタニカルを使用しており、風味や香りからも智頭らしさをしっかりと感じる事が出来ます。

当面はインターネット通販や町のイベントなどで販売したり、町内の飲食店などで取り扱ってもらったりしながら、ゆくゆくは卸売免許も取得して小売・スーパーや観光協会、お土産店などでの販売も行っていきたいそうです。

※ 11月4日（月・休）に開催する「第13回 ちづ宿ハイカラ市」で出品予定です。



▲公式専用サイト・通販はこちらのQRコードからどうぞ。